

採血で癌があるか分かるの？ 腫瘍マーカーはどのくらい役に立つの？

「腫瘍マーカーは少し採血するだけでがんがあるかどうか分かる」と誤解されている場合があります。それは正しくありません。ただし、腫瘍マーカーは適正に利用すればわずかな採血でがんに関する大事な情報を得られることも確かです。

腫瘍マーカー採血は一般には次のような目的で行われます。

① がん診断の補助検査：

がんの診断は複数の検査の組み合わせで的を絞りますので、あるマーカーが万が一基準を超えていればその臓器に限定して次の精密検査（CT、MRI など）を選択できます

② がんの診断がついている場合は其の進行程度を知ることができます

③ がん治療中の場合は治療効果の判定の指標になります

④ 治療後の予後の判定（再発傾向など）を推測できます

⑤ がん家系などハイリスクの方のスクリーニング（念のための基本検査）に利用できます

* 組織の反応性により、正常の臓器でも異常値を示す場合もあります。

腫瘍マーカーには（がんのありそうな一つの臓器を特定できる）臓器特異性マーカーと（がんのありそうな臓器が複数示される）臓器非特異性マーカーの 2 種類があります。臓器特異性マーカーは数少なく、PSA（前立腺がんのみ）と AFP（肝臓がんのみ）ぐらいしかありません。

多くの非特異性マーカーは陽性になると犯人（がん）の可能性のあるいくつかの臓器が示されますので、複数のマーカーの組み合わせや、画像検査、症状などから犯人（がん）の臓器を絞っていきます。

現在様々な臓器のがんの腫瘍マーカーは 50 項目近くありますが、**当クリニックでは以下の腫瘍マーカーの測定を行っています。**

CEA（肺がん・消化器系がん・乳がんなど）、CA19-9（膵臓癌・胆管癌など）、AFP（肝臓がん特有）、PSA（前立腺がん特有）、CA125（卵巣がん）、抗 p53 抗体（大腸がん・食道がんなど）、CA15-3（乳がん）、SCC（扁平上皮がん：子宮頸がん・食道がん・膀胱がん）、CYFRA（肺がん）。

初めて腫瘍マーカーを調べる方は、下記の組み合わせでの検査もお勧めです。

（男性 3 種） CEA、CA19-9、PSA

（女性 3 種） CEA、CA19-9、CA125

（文責：医師 坂井春男）